

平成26年度  
第22回

# 静岡県図書館大会

伝えよう  
広げよう  
図書館の力  
新たな可能性

- ◆ 開会式・表彰式・情勢報告 9:45~10:40  
情勢報告 日本図書館協会副理事長 山本 宏義 氏
- ◆ ライブトーク 10:50~12:30  
「"本とひと"を結ぶためにできること？」  
～本と出会うためのヒントをあなたへ～  
パネリスト 幅 允孝 氏 (BACH(バッハ)代表 ブックディレクター)  
野尻 真 氏 (静岡書店大賞前事務局長)  
コーディネーター  
舟田 彰 氏 (川崎市教育委員会 川崎市立宮前図書館)
- ◆ 分科会 13:45~15:45
  - ① 図書館サービス  
「Webから図書館の可能性を拓く  
～図書館をもっと楽しくするWebサービス～」
  - ② 児童に対するサービス  
「小学生への読み聞かせ  
～がんばれ！児童図書館員&ボランティア～」
  - ③ 子どもと読書  
「武田美穂ワールドへようこそ！ ～えほんは楽しい～」
  - ④ 図書館とユニバーサルデザイン  
「シニア向けサービスを考える  
～大人のための楽しい図書館活用講座の実践から～」
  - ⑤ 読書活動  
「読書が育む脳 ～なぜ「紙の本」が人にとって必要なのか～」
  - ⑥ 学校図書館  
「今、求められている学校図書館活用の在り方  
～学校図書館に関わる人たちの効果的な連携を考える～」
  - ⑦ 大学図書館  
「学修を支援する読書推進活動 ～帝京大学の<共読ライブラリー>  
プロジェクトにおける読書推進の取り組み～」

平成26年12月8日(月) 9:45~15:45

受付 9:10~9:45 参加無料

静岡県コンベンションアーツセンター **グランシップ**

参加申込締切日：11月6日(木)

\* 第3分科会は11月20日(木)

主催：静岡県教育委員会・静岡県図書館協会・静岡県読書推進運動協議会



# ライブトーク

## 「“本とひと”を結ぶためにできること？」

### ～本と出会うためのヒントをあなたへ～

インターネット、ゲーム等の普及により、あまり本を読まない人が増えてきています。漫画を読んだり、映画を観たりするが小説は読まない人や、インターネットで調べ物はするが、本で調べることはしない人が世の中にはたくさんいます。あまり読書をしない人たちに本に興味を持ってもらい、手にしてもらうためにできることはどんなことでしょうか。今回は人と本を結びつける活動を行っている図書館外の方々のお話を聞き、読書普及のためのヒントを学びたいと思います。

#### ☆ パネリスト

幅 允孝（はば よしたか）氏 <BACH（バッハ）代表 ブックディレクター>

人と本がもう少しうまく出会えるよう、様々な場所で本の提案をしている。伊勢丹新宿店「ビューティアポセカリー」や、「Brooklyn Parlor」など本屋と異業種を結びつけたり、病院や企業ライブラリーの制作など、その活動範囲は本の居場所と共に多岐にわたる。『本の声を聴け ブックディレクター幅允孝の仕事』（著・高瀬毅／文藝春秋）が刊行中。愛知県立芸術大学非常勤講師。www.bach-inc.com

野尻 真（のじり まこと）氏 <静岡書店大賞前事務局長・谷島屋 営業本部>

PC エンジニアを経て、2003 年書店員となる。2009 年谷島屋ららぽーと磐田店オープンを期に、谷島屋へ移籍。三方原店、ららぽーと磐田店、浜松本店の店長を歴任。2014 年谷島屋書店グループのバイヤーとして営業本部副部長になる。2013 年開催の第 2 回静岡書店大賞事務局長。2014 年開催の第 3 回静岡書店大賞副事務局長。書店だけでなく、図書館・学校図書館など、本に携わる様々な関係者にアプローチし、県下の読書推進のため、書店大賞を中心に講演活動も行っている。

#### ☆ コーディネーター

舟田 彰（ふなだ あきら）氏 <川崎市教育委員会 川崎市立宮前図書館>

1992 年川崎市入庁。一般事務職として教育委員会に配属。事務局では社会教育部、教職員課、生涯学習推進課で勤務。施設では市民館（川崎市では公民館を指す）で社会教育主事として7年間勤務。その後、図書館へ異動。麻生図書館 5 年、中原図書館 3 年間在籍中、新中原図書館の準備にも携わる。現在、宮前図書館の担当係長。ワークショップを用いた図書館研修講師も務める。ビジネス支援図書館推進協議会理事、日本医学図書館協会「医療・健康情報委員会」委員、日本図書館協会「健康情報委員会」委員。

## 各分科会のテーマ及び概要

### < 第 1 分科会 図書館サービス（定員 120 人）>

「Webから図書館の可能性を拓く ～図書館をもっと楽しくするWebサービス～」

講師 <sup>よしもと りゅうじ</sup> 吉本 龍司 氏（株式会社カーリル 代表取締役）

Web-OPACなんかじゃもの足りない？図書館が持つ蔵書のデータとWebサービスを組み合わせ、もっと楽しく図書館を活用できるような取組がされています。全国の図書館の蔵書を横断検索できる「カーリル」を運営する(株)カーリルの吉本龍司さんにお話を伺います。

### < 第 2 分科会 児童に対するサービス（定員 180 人）>

「小学生への読み聞かせ ～がんばれ！児童図書館員&ボランティア～」

講師 <sup>すぎやま こ</sup> 杉山 きく子 氏（元都立多摩図書館職員・児童図書館研究会運営委員長）

小学生への読み聞かせ、一体どんな本を選べばいいの？というボランティアの方も、どう案内したらいいの？という図書館の方も。子どもによいお話を渡したい方必見！年代別の選び方や読み聞かせの構成などを紹介します。

< 第3分科会 子どもと読書（定員450人）>

「武田美穂ワールドへようこそ！ ～えほんは楽しい～」

講師 <sup>たけだ みほ</sup> 武田美穂氏（絵本作家）

『となりのせきのますだくん』を知ってるかい？絵本作家の武田美穂さんがやってくる！

講演では、ご本人による絵本の読み聞かせや作品に対する思いを語っていただきます。底抜けに明るく、ユーモアあふれる武田美穂ワールドへ、是非お越しください！

< 第4分科会 図書館とユニバーサルデザイン（定員70人）>

「シニア向けサービスを考える ～大人のための楽しい図書館活用講座の実践から～」

講師 <sup>はやま みむら あつみ</sup> 葉山（三村）敦美氏（神奈川県座間市立図書館 主幹（司書））

今、図書館を利用するシニア世代が増えています。座間市立図書館では図書館を活用する講座で多くのシニアがいきいきと学んでいます。そこからはシニアへのサービスを、弱者へのサービスと限定的に見るのではなく、複数のアプローチが有効だと考えます。

< 第5分科会 読書活動（定員70人）>

「読書が育む脳 ～なぜ「紙の本」が人にとって必要なのか～」

講師 <sup>さかい くによし</sup> 酒井邦嘉氏（東京大学 大学院総合文化研究科 教授）

電子書籍が登場し、電子端末で手軽に書物が読めるようになりました。皆さんはどのように考え、どのように利用していますか。言語脳科学を研究する酒井邦嘉教授は「紙の本と電子書籍の読書には単なるメディア以上の違いがある」と言います。その理由を説き明かしていただきます。

< 第6分科会 学校図書館（定員120人）>

「今、求められている学校図書館活用の在り方 ～学校図書館に関わる人たちの効果的な連携を考える～」

講師 <sup>わたなべ のぶえ</sup> 渡辺暢恵氏（東京学芸大学 非常勤講師）

各学校では授業における学校図書館の活用が進められています。子どもたちに求められる力を付ける学校図書館活用について、今一度考えてみませんか。さらに、そこに関わる人たちの効果的な連携について、経験豊富な講師から伺いましょう。

< 第7分科会 大学図書館（定員70人）>

「学修を支援する読書推進活動 ～帝京大学の<共読ライブラリー>プロジェクトにおける読書推進の取り組み～」

講師 <sup>なかじま やすし</sup> 中嶋康氏（帝京大学メディアライブラリーセンター グループリーダー）

講師 <sup>なかみつ つねこ</sup> 中満恒子氏（帝京大学メディアライブラリーセンター チームリーダー）

ワークショップ担当 帝京大学メディアライブラリーセンター 職員

大学図書館は今、教育に関与・連携して学修を支援するという新しい役割が求められています。その役割に、「共読」をキーワードにした読書推進活動によって取り組んでいる帝京大学の事例を通して、学生に読書の魅力や技術を伝える学修支援の方法を考えます。



## < 日 程 >

- 9:10～ 9:45 受付
- 9:45～10:40 開会式・表彰式・情勢報告
- 10:40～10:50 《 休 憩 》
- 10:50～12:30 ライブトーク
- 12:30～13:45 《 諸連絡・休 憩・昼 食 》
- 13:45～15:45 分科会

※ ライブトークと第3分科会は、磁気ループと手話通訳があります。



## < 参 加 申 込 >

下記の参加申込書に必要事項を御記入の上、平成26年11月6日(木)までに、郵送・FAXまたは静岡県立中央図書館カウンターでお申し込みください。ただし、第3分科会に限り、11月20日(木)まで受け付けます。また、静岡県立中央図書館ウェブサイト及び右のコードよりスマートフォンからもお申し込みできます。



### 参加申込書送付先

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-1  
 静岡県立中央図書館 企画振興課振興係  
 TEL 054-262-1246  
 FAX 054-264-4268

- ★ 分科会への参加受付は先着順になります。必ず第2希望まで御記入ください。第2希望になる場合は、静岡県立中央図書館から連絡いたします。
- ★ 分科会の会場は当日の配布資料、掲示にてご案内いたします。
- ★ 当日は大会資料受付までお越しください。
- ★ 昼食用の弁当(お茶付・税込900円)を希望される場合は、大会当日、弁当受付へ午前9時45分までに直接お申し込みください。なお、グランシップの各会場への缶飲料の持込みは禁止されています。
- ★ 有料駐車場がありますが、当日は混雑が予想されますので、できる限り公共交通機関を御利用ください。



..... キ リ ト リ .....

## 平成26年度 第22回 静岡県図書館大会 参加申込書

氏 名		所 属 (図書館・学校・団体名等) *個人参加の場合記入不要			
電話 番 号		ライブトーク 参加希望	分科会参加希望		種 別
		有・無	第1希望	第2希望	図書館職員(公共・大学専門) 学校(教職員・学校司書)・一般 ボランティア・読書グループ その他( )
第1希望の分科会で 聞いてみたいこと					